

KCC Construction Consultant itakyusyu 会報

発行人

北九州市小倉北区
豎町1丁目6番8-101

KCC事務局
新川 信夫

TEL 093-561-8283

FAX 093-561-7373

E-mail info@kcc-group.net

令和
6年度

事業計画



都市整備局長
石川 達郎

はじめに
 (二社)北九州市建設コンサルタント協会の皆様には、日頃から本市の建設行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年4月に新設した「都市整備局」は、社会インフラの長寿化に向けた点検・工事の推進、公共施設の老朽化対策の強化などにより、持続可能で安全・安心なまちづくりを進めるため、土木関係部門と住宅及び建築部門を統合して誕生した組織です。

令和6年度は、市予算のキャッチフレーズ「北九州のポテンシャルを呼び醒ませ!」『成長への再起動(第2弾)』『予算』を踏まえて、所管する各事業の推進に努めてまいります。

道路事業
 都市の成長と強靱化に向け、戸畑枝光線や恒見朽網線などの

整備による道路ネットワークの充実や道路施設の長寿命化・耐震化など、稼げる基盤づくりに取り組めます。また、快適な自転車利用環境づくりや市民と行政の協働による美しいまちづくりなど、彩りある空間づくりとともに、通学路の安全対策や安全で快適な歩行空間の整備など、暮らしの安心を支えるまちづくりを進めます。

河川事業
 気候変動による水災害の激甚化・頻発化に備え、ハード対策として主要河川の改修や堆積土砂の浚渫などを着実に進めるとともに、ソフト対策として危機管理型水位計の設置等、河川情報システムの強化にも取り組み、安らぐまちづくりを進めます。令和6年度は、金山川の小嶺調節池(4万トン)を供用開始する予定です。

公園事業
 子どもたちが思いっきり遊べる公園、子育て世代が安心・快適に利用できる公園づくりを目指し、子どもや子育て世代の幅広い意見を生かした「こどもま

んなか公園」の推進に取り組めます。その他にも、引き続き「地域に役立つ公園づくり」や公園施設の長寿命化、バリアフリー化など彩りのあるまちづくりを進めます。

地区の整備事業
 目黒地区では、神嶽川の河川改修と土地区画整理事業を一体的に行う再整備事業を推進しています。令和6年度は立体換地建築物整備の年度内着工を目指し、移転交渉や建物解体を進めてまいります。

折尾地区総合整備事業では、令和6年度から南側駅前広場の工事に着手するとともに、駅に近い街区から整備を進め、しっかり民間投資を呼び込み、市内外から若者を含め新しい人が集まり、住みたくなるような魅力的なまちづくりを進めます。

おわりに
 本市の新たなビジョン「北九州市基本構想・基本計画」に掲げる3つの重点戦略、「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」を実現するには、未来に向けて必要な社会インフラ等の整備を行い、しっかりと引き継いでいくことが重要と考えております。

引き続き、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。



上下水道局長
持山 泰生

はじめに
 (二社)北九州市建設コンサルタント協会の皆様には、日頃から本市上下水道事業の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

上下水道局では、令和3年3月に策定した「上下水道事業中期経営計画2025」に掲げた各事業を着実に実施し、将来を見据えた安定的な事業経営を目指してまいります。

上下水道施設の強靱化
 本年1月に発生した令和6年能登半島地震の状況も踏まえ、大規模な地震が発生した場合においても、上下水道事業を持続していくために、長期的な視点に立って効率的・計画的な上下水道施設の改築更新を進めます。

また、近年、局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、効果的に施設整備を進めていくほか、水道の安全で安定した給水、下水道の最低限の水処理機能を維持するため、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化などを図ってまいります。



環境負荷の低減

再生可能エネルギーの更なる活用、下水汚泥の肥料化などによる環境負荷低減を推進します。

国内外への貢献

北九州都市圏域の中核都市として、行橋市、苅田町への水道水供給や、SDGsの達成に寄与する国際貢献の取り組みを通じて、技術協力や人材育成に取り組みます。

DXの推進

衛星画像とAIを活用した漏水調査や工事立会受付Webシステムの活用など、DXの推進に取り組みます。

おわりに

今後ともこれまで蓄積した技術やノウハウを生かし、積極的に各事業に取り組み、皆様に信頼される上下水道を目指してまいりますので、会員の皆様には、引き続き、本市上下水道事業への一層のご協力をお願い申し上げます。



都市戦略局長 上村 周二

はじめに

(二社)北九州市建設コンサルタント協会の皆様には、日頃か

ら北九州市のまちづくりに関してご協力いただき誠にありがとうございます。本年4月にまちづくり(都市づくり)の戦略的な企画・計画を行う「都市戦略局」を新設しました。土地の利用規制の見直しや積極的な民間投資の呼び込みによるインフラ整備を促進し、魅力的な街並みや多様なライフスタイルに広がる都市の魅力や価値の向上による人の流れを創出するなど、新たな事業に着手いたします。

まちなか居住移転支援事業

持続可能な都市経営の実現に向け、災害から市民の生命・財産を守るとともに、人や経済のまちなかへの集積を促進するため、区域区分見直しによる、まちなかへの移転支援を実施します。

持続可能な公共交通創造事業

持続可能な公共交通を実現するため、デジタル技術やユニバーサルデザインタクシーの導入を支援し、「働きやすい環境」と「利用しやすい環境」を構築します。

豊かで居心地のよいまちづくり事業

エリアの価値を高める居心地のよい都市空間を創出するため、小倉・黒崎を中心に、官民連携での社会実験を行いながら、高質で賑わいのある都市デ

ザインを策定するとともに、新たな民間開発の誘導策についても検討します。

まちづくりの新たな取組

公園計画部門の移管により、北九州市の豊かな自然や公園を活かしたまちづくりを推進します。

また、住宅施策と移住施策を一体的に行うことにより、北九州市内の居住者や北九州市外の移住者に対し、きめ細やかな支援を行います。

おわりに

これらの取組を着実に推進し、北九州市の基本構想に掲げた3つの重点戦略の実現を図ってまいります。

今後とも会員の皆様にはご協力を賜りますようお願い申し上げます。



技術監理局長 尊田 利文

はじめに

(二社)北九州市建設コンサルタント協会の皆様には、日頃より本市の公共事業に技術的な観点からご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

技術監理局では、本市建設業全体の魅力向上を目指し、働き

方改革の推進や生産性向上、将来の担い手確保・育成に取組んでいます。

働き方改革

建設コンサルタントをはじめ、建設業界では、若年就業者が減少し、将来にわたる担い手不足が深刻な課題となっております。

本市では、長時間労働の是正に向けた「ウィークリースタンス」や、設計業務委託のオンライン検査などを推進し、魅力ある職場環境の実現に向けて取り組んでいます。

引き続き、皆様のご意見を伺いながら、より一層の制度充実に努め、働き方改革の実現を目指してまいります。

生産性向上

令和4年度に策定した「公共工事関係部署のDX推進プラン」のもと、官民連携によるインフラ分野のDXを推進しており、「北九州市i-Construction推進協議会」を立ち上げ、新技術の導入促進に取組んでいます。

さらに、行政手続きのDXの取組みの一環として、令和6年2月から電子契約を導入しており、契約書の受取りや持込みが不要になるなど、受注者における業務の効率化を図っています。

魅力発信

建設業の魅力を発信するた

め、貴協会をはじめとする地元建設業界団体の皆様にご協力いただき、「ゆめみらいワーク」において建設業PRブースを出展するとともに、情報WEBサイト「ケンセツ男子・ケンセツ女子」において建設業界で働く若者を紹介しています。

今年度も、将来の担い手となる若者に向けて、建設業の魅力やイメージアップにつながる情報を発信してまいります。引き続きご協力をお願いいたします。

担い手確保・育成

設計業務に携わる技術者の意識向上や技術の継承、将来の担い手確保・育成に資することを目的として創設した「設計業務委託若手技術者・女性技術者表彰制度」では、昨年5月に初めて若手技術者2名・女性技術者1名を表彰し、今年度も表彰を行う予定です。

本制度を活用いただくことで、建設コンサルタント業界の発展とともに、建設技術力や業務の質の向上等に寄与することを期待してまいります。

引き続き、皆様のご意見を伺いながら、さらなる制度の充実に努めます。

おわりに

今後とも、貴協会会員の皆様のお力添えをいただきますようお願いいたします。

時に恐れずまわり道。

「ひたむき」が、近道。

道をつくり、守る仕事は「地道」です。

石橋をたたくように慎重に

果てしなく長い道のりを進む時でも 見えない所にこそ技術を惜しまず注ぎ
ともすれば、まわり道を選ぶことも恐れず 千里の道を一手、一手と紡いでいく仕事です。

それでも、私たちが歩みを止めないのは

命や暮らしを守る安心・安全な道を 街と人を縁の下から支える頑丈な道を

ただただ「のこしたい」と思うからです。

「ひたむきに技術を磨き、知恵を築いていくこと。これが私たちにできる、せめてもの近道だから」。

日々地道に、図面に手を走らせる私たちは 今日も、そんなことばかりを考えています。

株式会社アルファ

〒806-0068 北九州市八幡西区別所町 2-38 K D Cビル 203号

TEL 093-642-5122 FAX 093-642-5659

<https://alpha-company.info>

会員の方々の 会社紹介

どうぞよろしく
お願い致します。



沿革

当社は、昭和42年に土地家屋調査士事務所として創立し、その後、幅広く地域の発展に貢献したいと云う創業者の思いから、測量業及び建設コンサルタント業にも分野を広げ、現在に至るまで、地域密着型の企業として公共事業を中心に活動しております。

未来につづく明日へ

建設コンサルタントとして、公共インフラ整備及び維持のため、測量・調査・設計を行ってまいりましたが、昨今の集中豪雨や大地震等自然災害による被害は甚大で、どこの地域でも起こりうる事であり復興には時間を要します。確実な未来は予見できませんが、被害はある程度予測することができます。当社と致しましては、めざましい技術革新にも遅れをとらず、緊急の防備や復旧にも対応できる様、時代のニーズに応えるべく日々精進してまいります。



株式会社 押川測量設計

電話:093-571-3492 FAX:093-571-3403 E-mail: info@oshikawa-survey.jp

〒803-0814

北九州市小倉北区大手町4番23号

事務局だより



令和6年1月1日能登半島地震が発生し、石川県等に甚大な被害が発生しました。
被災された皆様へ一日も早い復興の力となりますよう、協会として義援金を募り、総額百二十万円を2月16日北九州市片山副市長へ松尾会長、鶴野副会長、新川専務理事が持参してお渡ししました。



令和6年1月15日に「北九州市 i-Construction 推進協議会」主催
講演会
講師 立石 佳公
インフラマネジメント事業部

の講演会に参加しました。
基調講演とパネルディスカッションの2部構成になっており、基調講演では本分野で活躍されている3名の方に i-Construction の背景から現状そして今後について、他自治体の取組事例紹介なども含めご講演頂きました。私は建設コンサルタントに従事していますが、自分の分野以外の状況を知る機会が少ない中、様々な分野の状況等を知ることが出来て、私をはじめ参加者にとって大変参考になったのではないのでしょうか。
パネルディスカッションでは、三谷先生(九州大学大学院教授)をコーディネーターとして測量、設計、工事分野の若手技術者をパネリストに、若手ならではの考えを新鮮なりアクションで語ってくれました。今の会社に勤めるきっかけや、今どんな業務を行っているか等、緊張をほぐす質問に始まり、i-Construction に関して取り組んでいる事・苦労している事などを聞くことができました。
パネリストには、弊社の若手も参加していただき、最後一言・・・のシーンで



弊社若手の「今取り組んでいる BIM/CIM を業務で活用していきたい」のコメントに対し、三谷先生が「なるほど！北九州市でも積極的に BIM/CIM 業務を行って欲しい！って事でですね」と訳された時は、少し冷や汗をかきました(笑)。大変ためになる講演会に参加する事が出来て、有意義な時間でした。

技術士合格者の 体験記シリーズ(23)



㈱三洋コンサルタント
水理実験課 寺田 謙

受験の動機

受験の動機は主に二つありました。一つ目は、科学技術に関する最高の国家資格である技術士は建設コンサルタントに従事するものとして、目指すべき資格であると考えたからです。二つ目は、国から発注される業務の管理技術者になるための必須条件であるということです。

このような理由から技術士受験を始め、10回目の挑戦でようやく技術士第二次試験(建設部門・港湾及び空港)に合格することができました。

筆記試験対策

平成26年度から会社として技術士取得をバックアップしてもらえようになり、このころから本格的に

的に勉強を始めました。具体的な勉強としては、論文の作成・ブラッシュアップと関連する資料の収集、出題テーマの分析および予想などです。最新のトピックスは国土交通省のHPや審議会資料、専門誌、STYVAAL 塾から入手しました。

論文については過去問をとにかく解きました。作成した論文は、恥ずかしながら複数名に添削を受けブラッシュアップし完成させました。また、賛否両論あるかも知れませんが、合格論文を読む・引用することで言い回しや言葉の使い方をマネしたことも私にとっては有効でした(決して丸写しではありません)。

口頭試験対策

口頭試験対策として社内技術士による模擬面接を複数回受け、最終的に想定Q&Aを150問程度で1カ月しかなかったため準備期間が少なく模擬面接の回数を重ねることに増えるQ&Aの暗記でパンク寸前でした。口頭試験は確固たる自信が持てずに受験し自己評価も低いものでしたがなんとか合格することができました。合格した要因は最後まで諦めなかったこと、熱意と情熱を持って誠実に受け答えができたことだと思えます。補足となりますが、業務内容はホワイトボードを使って説明する練習をしておいた方が良いと思います。

反省点は筆記試験が終わった段階で少しずつ勉強していれば、自信を持って口頭試験に臨めたのではないかとということです。

おわりに

私が感謝していることは社内にな数多くの技術士が在籍しており、想定問題や試験に関する情報が蓄積され活用できる環境にあったことです。時間はかかりましたがやっと技術者としてのスタートラインに立つことができました。今後は、公衆の安全を最優先とした上で発注者から信頼される技術者になれるよう自己研鑽に励みたい

編集後記

今回の会報の編集後記を担当することになりました。4月15日の発行予定ですが、私にとって特別な月でもあります。なんと、私はこの月に結婚式を挙げることにしました！皆さまに支えられて、感謝の気持ちでいっぱいです。そんな中、甥っ子も小学校の入学式を迎えることになりました。一家に二大イベントが続くとは、私の喜びもひとしおです。家族の幸せに囲まれながら、業界のトレンドもお伝えしていきます。結婚式と業界のニュースの動向、どちらが緊張するか：勝負です！私生活と仕事のバランスを保ちながら、ますます充実した日々を過ごしていきたいと思えます。ちなみに、本誌は年に4回発行されますが、結婚式はこの月限定の特別版です(笑)。

それでは、業界の有益な情報が詰まった会報をお届けできるように頑張りますので、次号もお楽しみに！
極水設計(株) 猪山 万里枝